

見える、物が二重に見える、瞳孔が拡張して光に敏感になる、などがあります。

■心呼吸器系

- ・呼吸困難：わずかな運動で呼吸が苦しくなります。
- ・高齢者の呼吸困難
- ・狭心症：山登りや労働が原因になります。激しい動悸があります。

■生殖器系

- ・勃起不全：性欲がなくなります。

■皮膚

- ・蟻走感：皮膚の下に虫が這うようなしびれ感があり、触るととまります。
- ・皮膚の特異感覚：皮下に異物、とくに砂が入っているように感じることがあります。

るように感じることがあります。

■その他

- ・消化不良：コーヒーを飲んだ後に、よくおくびが出ます。

MODALITY

- 戸外でのすばやい動き、日没後、ワイン、夕食後、高地など
- ◀ 高地、高山、山登り、寒さ、冷たい風、肉体労働、知的労働、座っていること、塩辛い食事など

RELATIONS

- ・ Antidoted by : Gelsenium

Cocculus indicus ツヅラフジ [乗り物酔い]

Anamirta paniculata Colebr

Anamirta cocculus W & A

BACK GROUND

この植物は、インドとスリランカ、とくにマラバル海岸沿いに生育し、Indian cockle, Levant nut, fish berry などと呼ばれています。この植物の種には、ピクロトキシンというGABA-A受容体を阻害するアルカロイド類神経毒が含まれています。Cocculusは、古くから漁で魚を麻痺させて捕まえるために使われていました。これと同様に人も麻痺させますので、酔いを強めるためにビールに混ぜられていました。また、民間療法ではこれを煎じて、外用薬としてシラミの駆除に使われています。

この植物のピクロトキシンの毒は、中枢神経に作用します。前庭神経障害と運動神経障害の2つが主な作用になります。

ピクロトキシンは、運動神経細胞に持続性収縮を起こさせて、やがて間代性痙攣、そして麻痺へと移行します。感覚中枢では、精神的混乱や知覚麻痺、意識不明となり、延髄の生命中枢では、呼吸器系や心血管系の異常を引き起こし、消化器系では吐き気と激しい腹痛を引き起こします。

この植物のピクロトキシン以外の有効成分には、ピクロチン、コッカリン、メニスベルミン、パラミニスペリミン、パーベリン、コロパンニン、パルマチンなどがあります。

MATERIAL

この植物の実と種子

FIRST PROVING

ハーネマン (『Materia Medica Pura』第3巻)

MIND

このレメディは、Ignatia, Staphysagria, Hyoscyamusなどと同様に、怒りや悲嘆、恐れに敏感な人に適用するレメディですが、イライラと怒りやすく、精神的に鈍く無感情で、虚脱感 (Irritable weakness) があり、乗り物酔いのような強いめまいがあります。頭や体が空洞になっているような感覚です (hollowness and emptiness)。

このレメディのいちばんの特徴は、食後のめまいや吐き気があります。吐き気は食べることや食べ物の匂いによって悪化します。乗り物酔いだけでなく、動いている船を見るだけで吐き気がします。

極端に食事の匂いを嫌います。冷たい飲物、とくにビールを欲しがります。目を閉じて眠ろうとすると、すぐに恐ろしい夢を見てしまうので、よく眠れません。そのために睡眠不足になり、病気になることがあります。また同情的な面があるため、他人の健康について気を使い、とくに愛する人の献身的な看護からも悪化

することがあります。

CLINICAL APPLICATIONS

■精神神経系

- ・ **乗り物酔い**：暖めたり，乗り物の窓を閉め切ると楽になります（Tabacumの場合は，車の窓を開けて外気を吸うと楽になります）。食べることで悪化します（Petroleumの場合は，食べると楽になります）。急加速も苦手です。
- ・ **不眠症**：仕事のしすぎ，心配しすぎ，夜ふかしの習慣などによるリズム障害。とくに愛する人の心配が非常に強いです。また，不眠で体調が悪化します。
- ・ **めまい**：頭痛や吐き気を伴います。とくに疲れているときに起こります。たとえば，一晩中寝ずに誰かの看護をしたときなどは，このレメディが必要です。世界が回って見えるほどめまいが強く，横になってしまいます。とくに，動いている物を見たり，動いている乗り物から物を見ると，強いめまいを起こします。座ったり，睡眠不足，食事やコーヒーで悪化します。めまいには，周期性があり，一般的には2週間おきの場合が多いようです。
- ・ **頭痛**，片頭痛：乗り物に乗ったり，睡眠不足や飲酒などで悪化します。頭の中が空洞になる感覚があります。後頭部の痛みは仰向けになると悪化しますが，体を後ろに反ると楽になります。コーヒーで悪化します。
- ・ 多発性硬化症
- ・ 神経変性性疾患
- ・ 慢性疲労症候群

- ・ 局所的な筋麻痺，筋力低下：とくに頸や腰，足の筋肉に虚脱感があります。膝に力が入りません。生理中に悪化します。足の痙攣を起こすこともあります。頸の筋肉が弱っているときは，頭を支えるのがつらいほどになります。肩や腕に打撲のような痛みを感じる場合があります。舌が分厚く，麻痺しているような感覚になることもあります。

■泌尿生殖器系

- ・ **悪阻**：唾液がたくさん出ます。心配性で不眠になる場合。
- ・ **月経困難症**：生理痛が強く，吐き気やめまい，不眠症などを伴います。生理中は虚弱感を感じます。

■肝臓の痛みと腫脹：怒ると悪化します。

MODALITY

- ▶ 座っていること，横に寝ることなど
- ❏ **寝不足**，冷たい空気，戸外の空気，触られること，**乗り物に乗ること**，冷たい物を飲食すること，コーヒー，**月経**，運動，水泳，食事，暖かいベッド，夜中から午前2時頃など

このレメディは車酔いによく効き，出発の2日前から30cを投与します。乗り物酔いのレメディはほかにも，Tabacum，Nux vomica，Petroleum，Symphoricarposなどがあります。Cocculusは，曲がりくねった道や船で酔うときに効果があります。

RELATIONS

- ・ Antidotes：Coffea，Nux vomica

Coccus cacti エンジムシ [発作性の咳—呼吸器系]

Cochineal

Dactylopius coccuc Cosoa

BACK GROUND

Coccus cactiは，ウチワサボテン科のペニコイチジク（Opuntia coccinelliferaとOpuntia tuna）の表面に寄生する，カイガラムシ科のエンジムシです。コチニール虫とも呼ばれています。

中南米のペルーからメキシコにかけての地域原産の虫で，現在ではペルーが主要産地です。ほかには，エクアドル，メキシコ，チリ，西インド諸島，カナリア

諸島，ケニア，スペインなどが主な産地となっています。とくにペルーでは，大規模なプランテーションがあります。

この虫の雌から得られる色素は，さまざまな用途に利用されています。乾燥したエンジムシの生産量は，およそ1,200tくらいになり，そのうち日本の消費量は約10%になります。日本は100%，輸入に頼っています。このエンジムシの雌には，アントラキノン系カル